



7月3日に三郎の滝で滝開きが行われ、子どもたちはさっそく滝すべりを楽しみました。

## 暑い夏がやってきた

7月10日には、河佐峡の川開きが行われ、河佐峡フェスティバルが行われました。多くの親子連れが訪れ、魚のつかみ取りやウォータースライダーなどで楽しみました。



### 6月議会

## 令和4年度府中市一般会計補正予算等を可決!

市議会6月定例会は、6月13日から6月28日まで16日間開き、議案3件、報告7件、意見書案1件審議し議決しました。

### 主な議案

- 府中市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について  
公職選挙法施行令の一部改正による、公費負担制度の改正

(原案可決)
- 令和4年度府中市一般会計補正予算(第2号)について 既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4,480万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ219億7,580万2千円とする。子育て世帯生活支援特別給付金事業

(原案可決)
- 令和4年度府中市一般会計補正予算(第3号)について 既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3億35万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ222億7,616万1千円とする。新型コロナウイルスワクチン4回目接種に向けた体制確保などの経費や原油価格・物価高騰等による中小事業者等への継続支援など

(原案可決)

### 議員提出意見書案

- 2023年度予算編成にあたって地方税財政の充実強化を求める意見書の提出について

(原案可決)

### 主な案件

- 市政参画促進特別委員会の設置について  
市民が政治参加を実感でき、市議会への関心向上に繋がる取り組みについて検討するために設置

(原案可決)

# 一般質問

## Q & A

6月16日、17日 13人の議員が  
市政を問う！



公明党  
かしま ひろのぶ  
加島 広宣

### 物価高騰などへの対策



**Q** ウクライナ危機による影響は、今後更に物価高騰となり、学校給食の値上げや食材提供の高騰などで、保護者負担や食材提供者負担などあらゆるところに波及していく懸念がある。今後の対策など考えを伺う。

**A** 食材提供事業者との細やかな連携の中で、安定的に供給いただいております。給食費の値上げは、現時点では考えていない。今後も食材高騰が続き予算が不足することになれば、保護者には負担を求めず、地方創生臨時交付金の活用など補正予算での対応を行ないたい。



公明党  
おおもと かのり  
大本 千香子

### 女性デジタル人材の育成



**Q** 国では今年4月に「女性デジタル人材育成プラン」が示され、3年間の集中した取り組みを検討されている。府中市での女性デジタル人材の育成と活用について伺う。

**A** 具体的にはこれからの取り組みとなるが、市内ニーズの把握もしながら、研修、就労機会のマッチング、サポートなど、一体的な支援がどのようにできるのか検討したい。



市民クラブ  
どい 基  
土井 基司

### 生活道路の維持管理



**Q** 幅員が狭く主に日常生活で利用する生活道路の維持管理は、快適な市民生活に直結する。生活道路の点検や修繕計画について聞く。

**A** 点検調査結果に基づき、劣化具合や交通量などを考慮して個別施設計画を策定し、舗装修繕工事を行っている。緊急を要する補修は地区ごとの年間契約で業者に委託し対応している。損傷の早期発見が道路事故防止にもつながるので「マイ府中※」などにより、情報提供をお願いし、道路保全に努めていく。

※府中市の双方向通信型市民生活総合支援アプリ



市民クラブ  
みずた ゆたか  
水田 豊

### JR福塩線の存続



**Q** JR西日本が赤字路線の見直しに言及し、その中には福塩線も入っている。市の考えを聞く。

**A** JR福塩線は地域住民の貴重な移動手段であると同時にまちづくりを含めた地方創生を進めるために必要不可欠な広域ネットワークであると認識している。その廃止や著しく利便性を欠く減便は、通学・通勤・通院など中山間地域における生活を困難にし、地域そのものを衰退させる要因になる。地方切り捨てにならないよう国や県、JRに市長会な



カーブ列車



市民クラブ  
しばうち のりあき  
芝内 則明

### 市民プール



**Q** 市民プールを建設するうえでの構想、コンセプトを伺う。

**A** プールとしての機能だけではなく、様々なスポーツをつなぐハブ※としての機能や、また、リハビリ機能回復のために利用していただけるような健康づくりをつなぐハブ。さらには、医療や、子供の教育など幅広い分野、幅広い世代をつなぐ拠点として利用していただける施設としていきたいと考えている。

※中心地、結節点



創生会  
ほんたに ひろゆき  
本谷 宏行

### 小野市長の二期目 施政方針と人口減対策



**Q** 施政方針と人口減対策について伺う。

**A** 第5次総合計画の5つの目標である「力強い産業」「教育・子育て」「賑わいづくり」「安全・安心」「ICT都市」を着実に実行して行く。特に力強い産業、及び人口減対策については、商工会議所と連携をとりながら、若い世代を呼び込むための体制づくりを進めている。若い方が働きたい職種が十分にあるのか、ハードとソフトの整備と併せて働く場の創出などに取り組みきたい。



創生会  
さなだ みつお  
真田 光夫

### 人口減少問題



**Q** 出る町か、来る町か、ちよūdい町府中。他の市町よりもPRできる点を伺う。

どを通じてあらゆるタイミングで存続を求めてゆく。

**A** 一つ目は、府中市には「熱く、いこる」人材が多くおられ、チャレンジ精神あふれる文化は、今も若者たちに引き継がれており、それを支援する土壌がある。二つ目は、府中市には、多種多様な産業が集積しており、伝統的な匠の技とグローバルな技術力をもった「本物のものづくりの町」だと考える。



創生会  
岩室 雄大

### 府中市の情報発信



**Q** 府中市の情報発信は不十分と考えるが、これからの広報について伺う。

**A** 引き続き「伝える」ことにこだわり、さらに発信力を強化していく。そのために、市役所全体の広報を統括する非常勤の「広報ディレクター」を配置し広報誌、広報番組、広報サイト、SNS、オリジナルアプリ等、より有効に活用し成果に繋げていくため、創意工夫し改善していく。



創生会  
秦田 澄子

### サンタリーボックスの設置



**Q** 前立腺ガン、膀胱ガン等の影響で尿漏れパッドを使っている方が、処理方法を心配して外出を躊躇することが多くある。まずは公衆トイレ（男性用個室）にサンタリーボックス<sup>※1</sup>を設置してはどうか。

**A** 市庁内に於いてパブリックトイレタスクフォース<sup>※2</sup>の会議を開き、トイレ設置における様々な検討をしている。今後、サンタリーボックスを男性トイレに設置することがスタンダードになると考えている。新設又は利用者の多いトイレから順次設置をする予定である。

※1汚物入れ ※2公衆トイレ課題解決専門調査チーム



創生会  
三藤 毅

### 町内会の活動の持続可能性



**Q** 町内会への事務委託等の負担軽減策について、今後の取り組みを伺う。

**A** 町内会の負担軽減とともに、どのようにしたら持続可能なまちづくりや地域づくりを行うことができるかが課題となる。そのため、市として関係各課の職員で構成するプロジェクトチームを設け、町内会担当の総務課を中心に、様々な課（教委・福祉・土木など）と連携を図りながら町内会の負担軽減に取り組むたいと考える。



創生会  
森川 新

### 府中市消防団の状況



**Q** 登録団員数と、団員募集の取り組みについて伺う。

**A** 現在の登録団員数は757名で、令和元年度時から30名弱減少している。また、40代、50代の団員が全体の7割を占めている。消防団員募集の取り組みとして、町内会や消防後援会など地域への協力量や、企業の協力を得るための制度の制定など行ってきた。しかし、団員の確保ができない地域もあり、消防団員の確保だけでなく、地域の消防をどうするかを含めた見直しが必要と考える。



無所属  
藤本 秀範

### 鳴谷沈下橋撤去に伴う住民説明



**Q** 栗柄町鳴谷から中須町の農地や高木駅へ向かう為に鳴谷広谷線沈下橋は広く活用されていた。沈下橋の撤去は近隣住民の理解を得られていない。行政側からの住民説明を求めたい。

**A** 生活道として利用している。今後、撤去の必要性を丁寧に説明し、市民の皆様の意見を聞き、不便さを軽減できる整備を行いたい。また、地域の生活環境を守り、安全・安心で暮らしていける対策を着実に進めるなど、早い段階に説明会を開催する。



鳴谷橋



無所属  
岡田 隆行

### 「いじめ問題」への対応



**Q** 市内の学校で発生したいじめ問題について、3月の新聞報道以降どうなっているのか。

**A** 今回のいじめ事案に取り組む中、重大事案として調査審議を行うことにより、被害の児童生徒の今後の学校生活の安全と希望につながるようにはと考えて、現在調査委員会を設置している。審議の手続きは非公開であり、現時点で説明はできないが、調査が終了した段階において、結果を公表したい。再発防止に向けても取り組んでまいりたい。

## 常任委員会での審査

### 総務文教委員会

・府中市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について（原案可決）

**Q** 公費負担の改正単価において、国の公職選挙法施行規則の提示された額と違う区分がある理由は何か。

**A** 国の公職選挙法施行令による公費負担の限度額と

## 建設産業委員会

市の条例による限度額で異なるものは、一つは公営による選挙運動用自動車の使用のうち、ハイヤー方式による委託費、もう一つは選挙運動用ポスターの作成の企画費である。公営の選挙運動用自動車の利用方法には、一括借り上げのハイヤー方式と自動車の借り入れと燃料供給、そして運転手の雇用を個別に行う方法があるが、条例では、いずれの方法においても、公費負担の限度額を同額とするため、国の限度額と異なっている。また、選挙運動用ポスター作成については、条例制定時の市の財政状況等を勘案して、国の基準の3分の1を限度額としている。

## 厚生委員会

令和3年度府中市一般会計繰越明許費繰越計算書について、予定していた繰り越し事業の繰越額が確定したことを報告した。質疑はなく、審査は終了した。

・府中市土地開発公社の事業の状況について

**Q** 令和3年度の取り組みの成果と課題では、土砂災害警戒区域等では、特に警戒区域内レッドゾーンの区画とあるが、対象となる区画数と今後の対応計画、レッドゾーンになった経過と対策について伺う。

**A** 桜が丘団地における土砂災害警戒区域等については、令和3年8月に広島県の告示を受けて指定された。土砂災害警戒区域いわゆるイエロー区域については44区画、土砂災害特別警戒区域いわゆるレッド区域については26区画である。今後の対応については、例えば、レッド区域については新築時のレッド対策補助金や、法面対策工事など支援策や対策工事について考えていきたい。既にお住まいの方に対しての不安解消についても、しっかりと取り組んでいきたい。

## 予算特別委員会での審査

### 総務文教分科会

・令和4年度府中市一般会計補正予算（第3号）10款教育費について

**Q** 大型掲示装置について、なぜ理科室に配置するのか、また10台とする根拠は何か。10台では足りないのではないかと。

**A** 府中市においては、令和2年度中に、児童生徒及び教師用の端末は既に整備を完了しており、普通教室への大型掲示装置も整備を完了していることから、今回、他の自治体より先駆けて、特別教室へ大型掲示装置を整備するものである。市内の学校にある特別教室は68教室あるが、学習内容に応じて、既に設置されている大型掲示装置を移動するなど、効果的に活用できるように工夫が必要と考えている。

今回の整備により、小中一貫教育を通して取り組んできた教科担任制授業の充実とも重ねて、特別教室をより有効に活用できる環境を整えて授業の質を高める、積極的に先

駆け的なチャンスに展開したいと考えている。教科担任制においては、優先的に専科指導すべき教科として、理科、外国語が示されていることを鑑み、各学校に1台、理科室での活用を通して、今後の特別教室での授業づくりや、オンライン学習を充実させる基盤をつくりたい。

## 厚生分科会

・新型コロナウイルスワクチン住民接種事業について

**Q** 3回目接種までの接種率とこれまでの接種で廃棄したワクチンはあるのか。また、4回目接種の対象者について伺う。

**A** 12歳以上を対象としたワクチンの接種率は、1回目接種が87.3%、2回目接種が86.9%、3回目接種が72.4%となっており、いずれも県内全体の接種率を上回っている。

また、廃棄したワクチンについては、5月26日に使用期限を迎えたモデルナ社製ワクチン142本、2、130人

分をやむを得ず廃棄した。モデルナ社製ワクチンは副反応が気になる方が多くおられ、敬遠された方が多かったことが原因として考えられる。現在、これまでのワクチンと有効性は同程度で副反応が少なくとされている武田社製ワクチン（ノババックス）の接種も行えるように準備をすすめている。

4回目接種の対象者について、3回目までの接種と異なり、感染予防というよりも、重症化予防を目的としていることから、対象者は、3回目接種日から5か月以上経過した方のうち、60歳以上の方と18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方が対象となり、対象人数は1万2000人を想定している。

## 建設産業分科会

・（仮称）府中市クリーンセンター（ごみ中継施設）整備事業について

**Q** 大型塵芥車（パッカー車）車両購入費1億2、600万円について、市が車両を購入することとした経緯と市

が購入するメリットは何か。

**A** 大型塵芥車の入手については、昨年の情報では9か月程度で納車可能であると聞いていたことから、今年度中に委託事業者を決定することで、令和5年度内で委託事業者により車両を準備していただければ、令和6年4月からの福山市への運搬に合うものと考えていた。しかし、コロナウイルス感染症やウクライナ情勢等の世界的な経済的不安定により、半導体の入手困難、電気部品、車両についても同様な事が起こったことから昨年度末にメーカーへ再度確認したところ、現時点で1年8か月程度の期間を要すると聞いた。そのため、令和6年4月からの福山市の次期ごみ処理施設への搬出開始に間に合わせる事が大前提であり、府中市による車両購入を優先して、車両の確保に努めた。また、府中市が車両を購入するにあたり、過疎債を利用することで結果的にはあるが、実質的な負担を軽減する見込みである。

# 令和3年度政務活動費の報告 各会派に政務活動費として議員一人当たり、年間12万円が交付されました

会派	人数	交付額 (円)	使用額計 (円)	使用項目	使用額 (円)	使用内容	効果
創生会	12人	1,560,000	509,421  交付金の返還 1,050,579	研究研修費  調査旅費   資料購入費 広報費	138,200  141,590  92,736 136,895	広島県庁等へ研修旅費 岡山県真庭市  近大広島キャンパス、 岡山県真庭市  書籍購入 創生会通信発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁にて新型コロナウイルスワクチン接種状況及び今後の見通しについて確認した。また、Withコロナ時代に対応したDXの推進による今後の展望や県民の暮らしへの影響について伺った。</li> <li>農業支援施策について多くのメニューを確認し、地域課題解決をどのように支援と推進していくことが大切かと感じた。</li> <li>建設関係部局に府中南北道路や災害復旧工事については、引き続き早期実現の取り組みを要望した。</li> <li>既に市内企業数社から技術相談もあるようで、府中市の企業と近畿大学が共同研究しやすい環境整備となり、今後産業連係室を通して企業の技術開発支援や企業人材の育成が活発におこなえる制度の充実を努めていく必要があると感じた。</li> <li>真庭市と本市は地理的条件はよく似ていて、山林整備、鳥獣対策、山の防災力強化、これらを考えると検討の価値があり、良い循環システムが生まれれば雇用の創出にもつながる取り組みとなると感じた。</li> <li>日経グローバル定期購入費(令和3年4月～令和4年3月)</li> <li>会派としての議会報告を1回発行。</li> <li>コロナ禍により計画していたその他調査研究がおこなえず、一部の交付金を返還した。</li> </ul>
市民クラブ	3人	360,000	交付金の返還 360,000				<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により計画していた調査研究が全ておこなえず、交付金を全額返還した。</li> </ul>
公明党	2人	240,000	34,380  交付金の返還 205,620	研究研修費  調査旅費	12,000  22,380	岡山県真庭市  近大広島キャンパス、 岡山県真庭市	<ul style="list-style-type: none"> <li>府中市が近畿大学、府中商工会議所との包括連携協定を令和3年2月26日に締結し、近畿大学が取り組まれている研究内容などを伺った。本市も人口減少や超高齢社会が現実となり、行政だけですべての社会課題の解決を図ることは、困難となっていることから、人材不足の解消など、さまざまなメリットが考えられる。連携による新しいアイデアや技術が生まれ、自治体と企業のどちらも発展するきっかけになればと感じた。まずは、地元企業と密接に連携をする体制の構築が必要であると感じた。</li> <li>真庭市は、バイオマス活用推進に地域資源を活用し、地域の持続可能なまちづくりをすすめるため積極的に取り組まれていた。府中市にも未利用の木材資源があるので、山の管理をおこなう産業として成り立つかを含め検討していくべき課題であると感じた。</li> <li>コロナ禍により計画していたその他の調査研究がおこなえず、一部の交付金を返還した。</li> </ul>
日本共産党	2人	240,000  会派活動費 16,520	256,520	資料購入費  広報費	9,020  247,500	生活保護手帳2021版他  議会報告印刷費	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の生活保護関係法令及び通知などを知り、実施ポイントを理解できた。</li> <li>コロナ禍での1年、各定例議会の内容を分かりやすくまとめ、広く知らせることができた。</li> <li>「議会報告・たんぼぼ」を発行し多くの市民から市政の対するご意見や会派に対する要望を聞かせていただくことができた。</li> </ul>

○詳細は府中市ホームページにも掲載しています。

## 【政務活動費ってなに？】

国会議員は、仕事に必要な文書を送る費用や交通費などにあてることを目的として「調査研究広報滞在費」(旧・文書通信交通滞在費)が、1人あたり月額100万円支給されていますが、これには領収書の添付義務がなく、また返還義務がないなど、趣旨どおりの使用に疑念が残ることから、使途公開するよう法改正が求められています。

地方議会で支給される政務活動費は、議員の調査研究活動に役立てるため必要な経費の一部として交付されるもので、府中市議会においては、令和4年度から1人あたり月額2万円が、議会における会派及び無所属議員に対し交付されます。

この政務活動費の使用にあたっては、議員が研修会への参加や研修会の開催、先進地視察、資料作成、資料購入、議会活動の広報・広聴などについて「府中市議会政務活動費運用マニュアル」で細かく定めており、使用されなかった政務活動費は年度末に返還されます。

そして、使途の透明性を確保するため、収支報告書を作成し、支出に関するすべての領収書とともにホームページで公開しています。

## 6月議会での各議員の議決結果 (賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議案名	議員名																	
	加藤吉秀	藤本秀範	岩室雄大	真田光夫	福田勉	森川稔	芝内則明	岡田隆行	加島広宣	大本千香子	広瀬和彦	安友正章	加納孝彦	本谷宏行	土井基司	水田豊	三藤毅	田邊稔
予 算	令和4年度府中市一般会計補正予算(第2号)について																	
予 算	令和4年度府中市一般会計補正予算(第3号)について																	
条 例	府中市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について																	
意見書	2023年度予算編成あたって地方税財政の充実強化を求める意見書																	
発 議	市政参画促進特別委員会の設置																	

(議長の一は採決に加わらず、○は賛成、×は反対、棄は棄権、欠は欠席、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)



## 令和4年5月からの新体制

### 1列目

栗田 澄子 議員  
三藤 毅 議員  
加納 孝彦 副議長  
加藤 吉秀 議長  
小野 申人 市長  
村上 明雄 副市長  
荻野 雅裕 教育長

### 2列目

広瀬 和彦 議員  
安友 正章 議員  
加島 広宣 議員  
土井 基司 議員  
本谷 宏行 議員  
田邊 稔 議員  
水田 豊 議員  
大本千香子 議員

### 3列目

四田 利光 事務局長  
岩室 雄大 議員  
藤本 秀範 議員  
真田 光夫 議員  
芝内 則明 議員  
福田 勉 議員  
森川 稔 議員  
岡田 隆行 議員

### 議長就任あいさつ

加藤 吉秀

二元代表制のもと行政に対するチェック機能としての役割を、責任を持って果たしていく所存です。  
4月の府中市議会議員一般選挙の投票率は、過去最低の55%弱となり、市民の政治離れ及び市議会への関心の低さを痛感しました。  
このことから、市民及び市議会が一体となり市民が政治参加を実感でき、市議会への関心向上に繋がる取り組みを検討し、改めて議会改革を推進するため、市議会6月定例会で「市政参画促進特別委員会」を設置しました。  
市民の皆様も各議員にご意見をお寄せください。

### 副議長就任あいさつ

加納 孝彦

4月24日に行われた府中市議会議員選挙において19名の議員が選出され、加藤議長以下、新体制でのスタートとなります。  
重責ではありますが、議長を全力でサポートし、職務を全うしてまいります。  
また、選挙において低投票率という市民の皆様から大きな課題もいただきました。市民の皆様と共に歩む、市民の皆様から必要とされる議会を目指し、精進してまいります。  
どうぞよろしくお願いたします。

### 監査委員就任あいさつ

三藤 毅

自治体における監査は、財務監査、行政監査、財政援助団体等監査、決算審査、例月出納検査、基金運用審査、健全化判断比率等審査、住民監査請求に基づく監査など多岐にわたっております。  
もとより浅学非才の身ではございますが、識見を有する監査委員さまとともにこの監査委員の重責を担い、市民、納税者の皆さまの立場に立って、誠心誠意、誠実にその職責を果たしてまいり覚悟でございます。  
なにとぞ、皆さま方のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 議会の動き（令和4年4～6月）

- 5月16日 議会運営委員会（臨時会・6月定例会の運営について）
- 5月23日 厚生委員会（所管事務調査項目、管内視察について）
- 5月23日 議会運営委員会（一般質問の調整、3月議会の振り返り）
- 5月24日 総務文教委員会（所管事務調査項目について）
- 5月25日 建設産業委員会（所管事務調査項目について）
- 5月31日 広報広聴特別委員会（議会だよりの充実、議員と語る会について）
- 6月1日 総務文教委員会（管内視察、行政視察について）
- 6月6日 建設産業委員会（管内視察、行政視察について）
- 6月7日 議会運営委員会（6月議会の運営について）
- 6月21日 総務文教委員会（議案審査、執行部から事業進捗説明、行政視察など）
- 6月22日 厚生委員会（議案審査、執行部から事業進捗説明、行政視察など）
- 6月23日 建設産業委員会（議案審査、執行部から事業進捗説明、行政視察など）
- 6月28日 市政参画促進特別委員会（新規特別委員会設置、役員選出）
- 6月28日 広報広聴特別委員会（議会だよりの編集会議、議員と語る会について）

### 市政参画促進特別委員会

「投票に行きたくなるような議会を目指して」

この度、議長からの通知により、新しい特別委員会を設置いたしました。  
府中市議会では、これまでも議会改革に取り組んでまいりました。他市に先んじて「議会基本条例」、「政治倫理条例」等を制定し、自らを律する取り組みも行っており、令和2年3月には、市議会を長期間欠席した場合の議員報酬及び期末手当の減額、不支給等について定めた「議員報酬等の特例に関する条例」を制定しております。  
反面、この度の市議会議員選挙における低投票率は、今までの議会改革に何が足りないのか、市民の皆様のための議会改革となっていないのか、議員全員に課された大きな課題と考えております。  
皆様にもっと議会を知ってもらい、市政に参画していることを実感いただき、選挙への関心を高めていただけるような特別委員会を目指してまいります。  
どうぞよろしくお願いたします。（加納）

### 編集後記

広報広聴特別委員会は、「議会だよりの」、「議会報告会」を企画・立案する特別委員会です。市民の皆様は議会をより身近に感じていただけるよう誌面の構成や内容の充実をして発信していきたいと思っています。  
さて、今号より「QRコード」を一般質問に添付することとしました。誌面では要旨の報告となり、より市民の皆さまに議会を身近に感じたいと、だくことのできるのではなにかと思っております。また、議員一人ひとりの議会活動が可視化されると考えています。最後に、今年の梅雨は短くて連日最高気温が更新されています。水分補給と炎天下での活動等には十分に気をつけて生活をしましょう。（芝内）  
（※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です）

委員長 加納 孝彦  
副委員長 芝内 則明  
委員 三藤 毅  
委員 本谷 宏行  
委員 岩室 雄大  
委員 大本千香子  
委員 藤本 秀範

議会だよりのご意見・ご感想  
お待ちしております。  
TEL(0847)437171  
FAX(0847)4513212